

教育工学特論 レポート

氏名 4953 佐々木 朗 (学校教育専攻)
最終学歴 北海道教育大学函館校卒業 教育心理学専攻(昭和 58 年)
卒業論文 マイクロ・コンピュータによる心理学実験
- 認知的葛藤の発達水準の推移 -

在学中

私の大学時代は、コンピューター色であった。当時私が専攻していた教育心理学の一般実験のデータ処理は関数電卓で行っていた。何とか統計処理にコンピュータを使えないかということで、プログラムを組むようになった。当時やっと学内にもコンピュータ(マ位黒コンピュータ=マイコンと呼ばれていた)が入りだし、青木先生、山崎先生のご理解に支えられながらの研究であった。このことが成果を出すことができ、私はこの道にどっぷりと浸かってしまった。データ解析プログラムはもちろんとして、心理学実験そのものもコンピュータを使って行おうとする研究に没頭した。卒業論文もそういったテーマであった。

卒業後

・日高時代

日高での2校目は、当時はまだ珍しかったコンピュータが導入された新設の小学校だった。マシンはあるものの学習ソフトが1本もない。そんなスタートだった。私は、算数の学習プログラムを作った。毎月のように訪れる全道からの視察に、自作ソフトの授業を公開していた。一年ぐらいで全学年、それぞれ一単元分ぐらいのソフトを作って、財産は増えていった。ソフトウェアコンクールで全国入賞もして、エネルギーな時代であった。

・恵山時代

渡島に戻り赴任した中学校は、コンピュータ導入の計画を立てているところだった。私が全面的に任され、当時としては、最高水準の設備を計画して教育委員会に提出した。委員会はそれを全て叶えてくれ、エアコンまでついたコンピュータ室ができた。その期待に応えるため、授業では生徒にはどんどん使わせた。研究会や講習会も積極的に引き受けた。また、地域を対象としたコンピュータ講習会を開催することができ、その時蒔いた種が大きく育っているという話を聞くとうれしい。

また、渡島情報教育研究会の立ち上げ、そして幹事長として、渡島管内の情報教育の発展を願って、研究大会や先生方対象の講習会など数々の事業を進めてきた。20代で果たせなかった研究組織作りをすることができ、充実した時代であった。

・七飯時代

再び小学校に戻り、渡島の組織を動かすことと、小学校でどうコンピュータを活用していくかに力を入れた。まずは、先生方の情報機器に対する理解を深めるために、職員室内

をネットワークで結び、ファイルやプリンターの共有、そして、インターネット接続できるようにした。先生方も意欲的で、学校の文書は、どの端末からでも呼び出せるようになった。また、講習会では、エクセルの普及に力を入れた。

また、平成 15 年度は道立教育研究所のデジタルコンテンツ作成協議会のコンテンツ開発メンバーとなり、デジタル教材の開発に取り組み、検証授業を実施することができた。

しばしば、あちらこちらの学校や知人から電話がかかってきて、「パソコントラブル解決屋さん」にもなってしまったが、その裏腹にずいぶん技術が身についたと感じる。

大学院でやりたいこと

このように、大学時代に学んだことをずっと教職の場で生かしたことは幸せだった。一方、「情報教育ってなあに？」と尋ねられた時、筋を通して説明する自信のない自分がいた。

私はこの一年間でこんなことを勉強していく。

1. 情報教育とは何か、またそのあり方

私は、情報教育の中心にコンピュータがあつていいと思っている。情報教育の背景及びこれからについて勉強すると共に、これからの子ども達に、「情報活用能力」について具体的に、どのような指導をしていくべきかを研究したい。

2. 教育のIT化

ミレニアムプロジェクトによる学校へのコンピュータ整備が来年度を持って終了し、全ての学校がインターネットに接続できる環境になる。また、今後F T T Hが義務教育学校にも引かれることが予想される。そのような中で、教育機器としてのコンピュータをどう活用していくか、また、校務における活用、教職員のリテラシーのボトムアップについて研究したい。

3. 情報教育をコーディネートしていけるコンピュータ技能を高めたい。

学校におけるコンピュータの導入、ネットワーク及びそのセキュリティー、アプリケーションなど、総合的なコンピュータ技能を高めたい。特に、C 言語、L I N U X、P E R L を一通り使えるようになりたい。

修士論文については、1 または 2 の中で、またそれらを包括して、実践に役立てるものを書きたい。

これから

これからの時代、学校においてもコンピュータの利用は好む好まざるに関わらず増大してくると考えられる。私は、それらをコーディネートしていく力をつけ、教育のIT化を推進する立場で仕事をしていきたい。

URL <http://www.hakodate.gr.jp/sasaki/>

E-mail asasaki@host.or.jp